



木場小だより

教育目標：豊かな心と確かな学力を備えた、
心身ともにたくましい児童の育成
<http://www.hakusan.ed.jp/~kiba-e/>

令和5年5月30日

小松市立木場小学校
校長 小山貴子

TEL：0761-44-2803
FAX：0761-44-5974
kiba-e@kec.hakusan.ed.jp

大杉での合宿



18日～19日、5、6年生が大杉みどりの里で合宿を行いました。宿泊を伴う活動を行えたのは4年ぶりです。1日目は夏を思わせるような快晴の中、ウォークラリー、イワナつかみ、キャンプファイヤーを、2日目は小雨の中ドーム広場で野外すいさんを行いました。大きな自然に抱かれ、のびのびと活動した木場っ子達は、友だちと協力して物事を成し遂げることの達成感はもちろん、つらいとき・楽しいときに思いを分かち合える友達の存在自体のありがたさを実感して学校に帰ってきました。

創立150周年、自分たちができることは何だろう

5月の全校集会で子ども達に「創立150周年に、自分たちには何ができるか」持ちかけたところ、たくさんのアイディアが出ました。6年生が中心となって「子ども達で実現できそうなこと」、「地域の人をお願いすることで実現しそうなこと」に分け、さらには誰がいつするかという話し合いをしました。学年や委員会で取り組もうとする子ども達の意欲をうれしく思います。全ての子が「創立150周年の年に自分はこの学校にいた」という思いと、木場っ子であることの誇りを持ってくれることを願っています。



木場潟東園地での活動



4月にオープンした東園地での体験活動として、既に3、4年生が里山の生き物観察に、1年生が春見つけに出かけました。また6年生は、出前授業で「火を上手に扱う方法」を学びました。職員玄関前の巣箱にはシジュウカラが、校舎の通気口にはスズメが巣を作りました。どちらからもヒナの鳴き声が聞こえ、親鳥がせっせと餌を運んで出入りしていました。子ども達の周りには学びがいっぱいです。



交通安全教室

26日、小松警察署、交通推進隊、育友会生活委員会の皆様のご協力をいただき、交通安全教室



を行いました。全体指導の後は、1、2年生が歩行練習、3、4年生が自転車に乗っての練習を行いました。5、6年生は教室で担任と共に交通事故から身を守るための学習を行いました。

いつも以上に慎重に歩いたり自転車に乗ったりしましたが、見ていてくださった方々から、自分の命を守るために以下のことを教えていただきました。

- ① 自分の体に合った自転車に乗る（サドルの高さが合わない人がいました）
- ② カーブミラーが設置されている場所は車から見えにくい場所だから、慎重に行動する
- ③ カトリア前や木場の交差点付近ではスピードを落とさない車だけでなく、道に不慣れな車も多い
- ④ 小さな交差点でも、自転車のスピードを落としてゆっくり運転するなどして安全運転をする

コロナ禍の影響が薄れ、木場湯に向かう交通量が増えています。木場町の町中からも、普段の子ども達の自転車の乗り方についての危険をお伝えいただきました。4月には羽咋市で児童が関わる大きな事故も起きています。ご家庭でも再度安全についてお話しくださり、各々が自分の命を守る行動がとれるようになってほしいと願っています。

あすチャレ！～車いすバスケットボール～



本校では、4年生が総合的な学習で福祉について学んでいます。今年度は、日本財団「パラスポーツサポートセンター」主催の「あすチャレ！スクール」事業参加の機会を得、26日に4、5年生が参加しました。パラアスリートの加藤正さんは、小学

2年生の時に骨肉腫のため片足を切断し、小学生の時には水泳をしたことがありませんでした。中学生の時、マネージャーとして入部した水泳部で、キラキラと光るプールの水面の魅力と泳ぐ楽しさを知ったことをきっかけに、水泳はもちろんアイスホッケー等様々なスポーツに挑戦し、パラリンピックに出場されました。

加藤さんの外見に少なからず戸惑った子ども達も、車いすバスケットボールの体験を通して次第に打ち解け、最後には身を乗り出して話を聞いていました。

- ① 外見の違いや障害の有無に関係なく、他者のことを自分のことと同じように思いやることが大切
- ② 全ての人がそれぞれ持っている可能性を、自分で摘み取らないようにしてほしい。自分の好きなことを「自分の武器」として伸ばすことが大切

ということを熱く伝えていただきました。

これまでしてきた中で最も好きなスポーツは何かとの質問に、「アイスホッケー。でもおすすめは登山」と答えてくださいました。理由は「ゴールがはっきりしていること」と、「行くからこそ見える景色がある」からだそうです。そう語る加藤さんはご自身の足で富士山の登山をしたそうです。



リコーダーの演奏 がんばるぞ！！

3年生から始まるリコーダーの学習に向け、楽器の先生からリコーダーの扱い方や音の出し方を教わりました。初めはキーンとした音も、次第に柔らかい音になりました。自由に使いこなせるようになり、学年のみんなで演奏する曲を聞かせてもらえるのが楽しみです。

